

平成29年度行政事業レビューシート ( 総務省 )

<b>事業名</b>	一般戦災死没者の慰霊事業経費			<b>担当部局庁</b>	大臣官房	<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始年度</b>	昭和52年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	総務課管理室	室長 稲垣 好展	
<b>会計区分</b>	一般会計						
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	総務省設置法(第4条第1項第87号)			<b>関係する計画、通知等</b>	-		
<b>主要政策・施策</b>	-			<b>主要経費</b>	その他の事項経費		
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	先の大戦における空襲等により多くの方々が亡くなられたことに鑑み、一般戦災死没者に対して追悼の意を表すこと。						
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	政府主催の全国戦没者追悼式等への一般戦災死没者遺族代表参列旅費の支給等の実施。 ※平成26年度まで、上記の事業のほか、先の大戦における一般戦災死没者の追悼に関する調査や展示会を実施。戦災に関する展示会については、戦災遺族会のある戦災都市を一巡したことから終了。また、調査についても全国の追悼式、追悼施設の調査を終えたことから終了。						
<b>実施方法</b>	直接実施						
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	<b>予算の状況</b>	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求
		補正予算	0	0	0	0	
		前年度から繰越し	0	0	0	0	0
		翌年度へ繰越し	0	0	0	0	
		予備費等	0	0	0	0	
		計	23	7	6	6	6
	執行額	22	6.4	5.7			
	執行率(%)	96%	91%	95%			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	96%	91%	95%			
<b>平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)</b>	<b>歳出予算目</b>	29年度当初予算	30年度要求	<b>主な増減理由</b>			
	委員等旅費	6	6				
	職員旅費	0	0				
	庁費	0	0				
計	6	6					

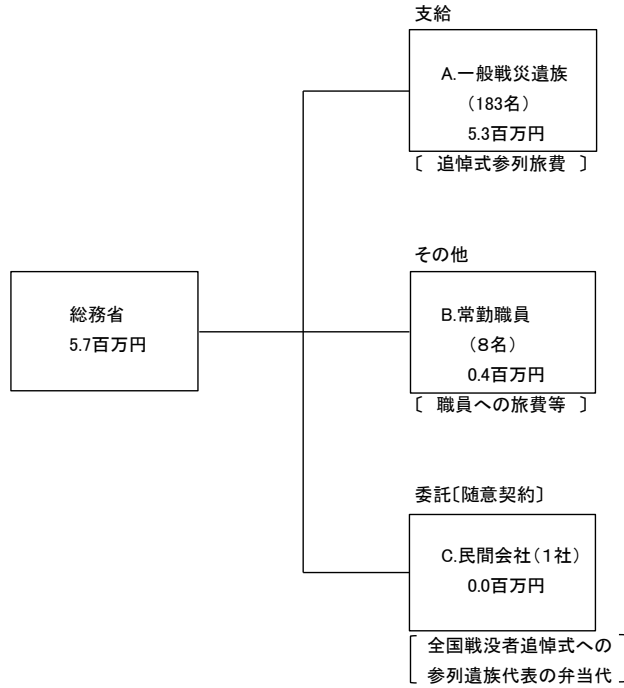
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	/	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度		
				年度	年度	年度	年度	年度	年度		
	成果実績	-		-	-	-	-	-	-		
	目標値	-		-	-	-	-	-	-		
				達成度	%	-	-	-	-		
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)											
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載								チェック			
定量的な成果目標 の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定量的な成果目標と26～28年度の達成状況・実績							
	一般戦災死没者の慰霊事業として実施する全国戦没者追悼式に参列する一般戦災死没者遺族代表者数は、都道府県等の推薦によるため、定量的な目標として設定することは困難。			<ul style="list-style-type: none"> <li>一般戦災死没者の慰霊事業の確実な実施。</li> <li>平成26年度から28年度までの間において、全国戦没者追悼式に参列する一般戦災死没者の遺族代表の旅費支給等により、一般戦災死没者の慰霊事業を確実に実施。</li> </ul>							
	代替目標	代替指標	/	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標最終年度		
	全国戦没者追悼式に参列する一般戦災死没者の遺族代表の推薦を全国の都道府県に依頼する。	(参考指標) 依頼都道府県数		実績	県	47	47	47	-	-	
			目標値	県	47	47	47	-	-		
			達成度	%	100	100	100	-	-		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込		
	全国戦没者追悼式等への一般戦災死没者遺族代表参列者数			活動実績	人	195	208	183	-	-	
				当初見込み	人	-	-	-	-		
	算出根拠			単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込			
単位当たり コスト	執行額/参列者数			単位当たり コスト	万円	3	2.9	2.9	-		
				計算式	執行額/参列者数	584/195	595/208	528/183	-		
政策評価、 経済・ 財政再生 アクション・ プログラムとの 関係	政策	VII. 国民生活の安全・安心									
	施策	1. 一般戦災死没者追悼等の事業の推進									
	測定指標	定量的指標			/	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標	目標年度
					実績値	-	-	-	-	-	-
					目標値	-	-	-	-	-	-
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)						
	一般戦災死没者の慰霊事業の実施 <アウトプット指標>	一般戦災死没者の慰霊事業の確実な実施	29	一般戦災死没者の慰霊事業の確実な実施							
				施策の進捗状況(実績)							
				一般戦災死没者の慰霊事業(全国戦没者追悼式に参列する一般戦災死没者遺族代表の旅費支給等)について確実に実施							
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
政府主催の全国戦没者追悼式等への一般戦災死没者遺族代表参列旅費の支給等により、一般戦災死没者の慰霊事業の一助を担うことで、一般戦災死没者等に対して追悼の意を表わすことに寄与する。											
改革項目	分野:	-									
(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			/	単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度	
				成果実績	-	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	-	
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			/	単位	計画開始時	28年度	29年度	中間目標	目標最終年度	
				成果実績	-	-	-	-	-	-	
				目標値	-	-	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	-	
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-											

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明			
国 必 費 投 入 の 性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	・全国戦没者追悼式に全国から遺族代表を国費により参列させる旨の閣議決定を踏まえた事業であるため。 ・全国戦没者追悼式に全国から遺族代表を国費により参列させる旨の閣議決定を踏まえた事業であるため。			
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	-				
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	-				
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	都道府県等の推薦により全国戦没者追悼式に参列する一般戦災死没者遺族代表に対し旅費支給等を行うことに限定し			
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無				
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無				
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-				
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-				
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-				
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	-					
事 業 の 有 効 性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-				
関 連 事 業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)					
	所管府省名	事業番号		事業名		
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	一般戦災死没者遺族代表参列旅費の支給等は円滑に実施されている。				
	改善の方向性	一般戦災死没者に対して追悼の意を表すため、一般戦災死没者の慰霊事業を引き続き円滑に実施する。				
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通 り	事業の効率的な予算執行に努め、引き続き所要額を計上。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り	事業の効率的な予算執行に努め、引き続き所要額を計上。					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	152	平成23年度	152	平成24年度	145	/
平成25年度	145	平成26年度	143	平成27年度	140	
平成28年度	136					

※平成28年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)  
 (単位: 百万円)



**費目・使途**  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.一般戦災遺族			B.常勤職員		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
計		0	計		0
C.民間会社			D.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-
計		0	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載  チェック

